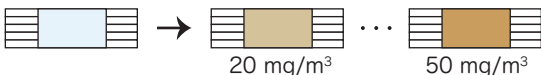


DT007

 二硫化炭素 (CS₂)


実寸(約10cm)

感度	20 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 10 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 1 リットル(1L)
色変化	二硫化炭素が存在する場合: 薄い青色から黄～茶色に変色します。 
反応原理	二硫化炭素[carbon disulphide]と銅イオン[cupric ions]およびピペラジン[piperazine]との反応により着色銅ジチオカルバメート[cupric dithiocarbamate]を生成します。
解説	検知管は酢酸銅[cupric acetate]とピペラジン[piperazine]を含浸させたシリカゲルの指示層1つで構成されています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで10 回(1 回 100 mL)または自動ポンプで1L 空気を送る。 ③色の変化を確認する。
選択性	硫化水素[Sulphide]も同様の反応をします。
干渉性	特記事項なし
温度	10～50 °C
湿度	10～95 %で利用可能